

六 大学入学者選抜の改善等

(一) 大学入学者選抜の改善

① 特色ある多様な入学者選抜の実施

平成一九年度の大学入試センター試験においては、全ての国立大学のほか、四五〇の私立大学及び一四八の私立短期大学が利用して行われた。各大学がこの試験と調査書、個別学力検査、面接、小論文、実技検査等を適切に組み合わせて入学志願者の能力・適性等を多面的に判定するよう、引き続き入学者選抜の改善・充実を進めていくことが期待される。

② 入学者受入方針の明確化

どのような学生を受け入れて、どのような教育を行い、どのような人材として社会に送り出すかは、その大学の個性・特色の根幹をなすものである。各大学は、入学者受入

方針（アドミッション・ポリシー）を明確にし、入学志願者や社会に対して明示するとともに、これを選抜方法の多様化や評価尺度の多元化の観点を踏まえ、実際の選抜方法や出題内容等に適切に反映させていく必要がある。また、アドミッション・ポリシーは、大学は国内外の環境の変化や激しい競争にさらされることから、このような努力を通じて、次の世代を担う者に対し、各人が学んでおくべき内容を示すという機能を果たすことも期待されている。

③ 「アドミッション・オフィス入試」について

近年、学力検査に偏ることなく、詳細な書類審査と時間を掛けた丁寧な面接等を組み合わせることにより、受験生の能力・適性等を総合的に判定することを目的とするきめ細やかな選抜方法として、「アドミッション・オフィス入試」を導入している大学が急速に増加してきており、今後とも、その適切な実施を促し、一層の普及を図っていく

定の一部見直し（全日制高校在学者への受験資格の拡大、受験科目の精選等。）を行い、平成一七年度から実施しているものである。

「高卒認定」は、様々な理由で大学入学資格を得ていない者の学習成果を適切に評価し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかどうかを認定するための試験である。合格者には大学入学資格が与えられるとともに、就職や各種資格試験の受験資格として活用することもできる。

合格するためには、所定の科目のすべてについて合格点を得る必要がある（試験科目・合格要件については表1を参照）。ただし、その者が一八歳に達していないときには、一八歳の誕生日から合格者となる。

合格者には合格証書が授与されるとともに、申請により合格証明書、合格成績証明書が交付される。

(二) 高等学校卒業程度認定試験の実施

○ 高等学校卒業程度認定試験の概要

「高等学校卒業程度認定試験（以下「高卒認定」という。）は、平成一六年八月の中央教育審議会答申「大学入学資格検定の見直しについて」を踏まえ、大学入学資格検

表2-1 出願者等の内訳

(単位:人)

	出 願 者			受 験 者			1以上の科目に合格した者		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成18年度・第1回	8,645	7,145	15,790	7,590	6,326	13,916	6,982	5,715	12,697
“ 第2回	7,258	6,571	13,829	6,439	5,861	12,300	5,591	5,108	10,699
“ 計	15,903	13,716	29,619	14,029	12,187	26,216	12,573	10,823	23,396
平成17年度・第1回	7,417	6,159	13,576	6,616	5,452	12,068	6,065	4,992	11,057
“ 第2回	7,112	5,943	13,055	6,371	5,345	11,716	5,538	4,674	10,212
“ 計	14,529	12,102	26,631	12,987	10,797	23,784	11,603	9,666	21,269

表2-2 1以上の科目に合格した者の内訳

(単位:人)

	大学入学資格取得者			科 目 合 格 者		
	男	女	計	男	女	計
平成18年度・第1回	3,349	2,405	5,754	3,633	3,310	6,943
“ 第2回	2,482	2,024	4,506	3,109	3,084	6,193
“ 計	5,831	4,429	10,260	6,742	6,394	13,136
平成17年度・第1回	2,500	1,887	4,387	3,565	3,105	6,670
“ 第2回	2,353	1,759	4,112	3,185	2,915	6,100
“ 計	4,853	3,646	8,499	6,750	6,020	12,770

(注1) 第1回の数値は、当年の9月現在、第2回の数値は、当年の12月現在のものである。

表1 試験科目・合格要件

教 科	試 験 科 目	要 件
国 語	国 語	必 修
地 理 歴 史	世界史A・世界史B	A・Bのうち1科目必修
	日本史A・日本史B 地理A・地理B	日本史A・B、地理A・Bのうち いずれか1科目必修
公 民	現 代 社 会	現代社会1科目 又は 倫理、政治・経済の2科目 } どちらか必修
	倫 理	
	政 治 ・ 経 済	
数 学	数 学	必 修
理 科	理 科 総 合	5科目のうち2科目必修
	物 理 I	
	化 学 I	
	生 物 I	
地 学 I		
外 国 語	英 語	必 修
合格に必要な科目数		8科目(現代社会を選択した場合) 9科目(倫理及び政治・経済を選択した場合)

- 平成一八年度高卒認定実施結果
平成一八年度の高卒認定は、各都道府県の協力を得て、第一回目は八月九日(水)・一〇日(木)、第二回目は一月一八日(土)・一九日(日)、それぞれ全国四七会場において実施した。
- 試験結果の概要は表2-1・表2-2のとおりである。
- 平成一九年度高卒認定実施日程
平成一九年度の試験に係る日程は次のとおりである。
- ①願書受付
 - 第一回 五月二日(金)～五月三日(水)
 - 第二回 九月七日(金)～九月九日(水)
 - ②試験実施
 - 第一回 八月八日(水)・九日(木)
 - 第二回 一月二七日(土)・二八日(日)
 - ③結果発送
 - 第一回 八月三十一日(金)(予定)
 - 第二回 二月二四日(金)(予定)